

まきの木

偕行会リハビリテーション病院 透析センター通信



朝夕冷え込む季節になりました。皆様、お体に気をつけて日々の生活をお過ごしください。8、9月に停電時に行う生食パックの返血方法の訓練を、皆様の協力のもと、無事終了することができました。2回目の地震に対するアンケートに答えて頂き、有難うございました。アンケート結果を抜粋してご報告いたします。

No	質問の内容	はい・いいえ	No	質問の内容	はい・いいえ
①	日常の透析治療中、ベッド柵を両方立てる、柵へのベルト固定、テープの長さを太いテープ 10cm 細いテープ 20cm 等、用意を全てしていますか		⑥	災害が起きた場合にご家族は、リハ病院への連絡先を把握していますか	
②	震が起きた場合は血液回路をしっかりと持ち、柵に捕まること、掛け布団等で落下物から頭を守ることを理解していますか		⑦	治療中に災害が起きた場合に、ご家族はあなたの避難場所を把握していますか	
③	透析治療中の避難経路を把握していますか		⑧	災害時の食事は、カリウム、タンパク質、塩分の多い食事は控えること、食事をしっかりと食べる、水分のとりすぎに注意して体重管理をすることを理解していますか	
④	災害が起きた場合の家族への連絡先を把握していますか		⑨	お薬は災害時に持ち出せるようにしていますか	
⑤	停電時に行なう生食パックの返血方法を行ないましたが、理解していただけましたか		⑩	NTT の災害用伝言ダイヤルの利用方法を理解していますか	

アンケートより、生食パックの返血操作を施行した 結果約 6 割の患者様に理解して頂きました。

生食パックの返血操作を、災害時に安全迅速に行動できるよう、患者様にご理解頂きたいと思ます。

生食パックの返血操作を年に2回、3月と9月に透析終了時訓練を予定していますのでご協力を 宜しくお願い致します。災害用伝言ダイヤル利用方法について、理解されている患者様は全体の半分以下でした。災害時伝言ダイヤルを実際に使用するために、月水金の患者様は11月1日、火木土の患者様は10月15日に災害時伝言ダイヤルの訓練をさせて頂きました。ご協力有難うございました。災害時は病院への連絡がとりにくい状況になります。患者様全員が災害時伝言ダイヤルをご使用できるよう、今後も練習させていただきたく思います。使用方法が解らなかつた場合は、遠慮なくスタッフへお申し出下さい。